

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和4年第48週の発生動向

### □ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が3,983例あり、先週(3,692例)の約1.1倍であった。2022年の累積報告数は211,837例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

### □ 全数報告の感染症 (48週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。  
4類感染症：つつが虫病5例、日本紅斑熱1例。5類感染症：梅毒5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	肺結核	なし
			80歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難、右胸水
			90歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
			90歳代	女	肺結核	咳、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	80歳代	女	—	水様性下痢、血便、O157(VT2)
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
		都城	60歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、腹痛、下痢
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		日向	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
	日本紅斑熱	宮崎市	40歳代	男	—	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常、手足の浮腫、倦怠感
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹、眼症状
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
		都城	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	眼症状
		小林	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は277人(定点当たり8.4)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【感染性胃腸炎】

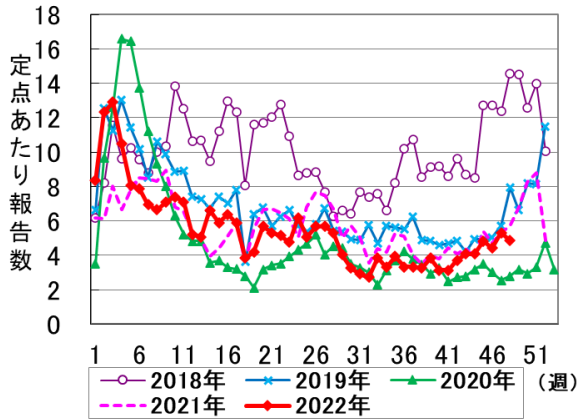
報告数は175人(4.9)で、前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(7.7)の約0.6倍であった。中央(10.0)、小林(7.3)、日向(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

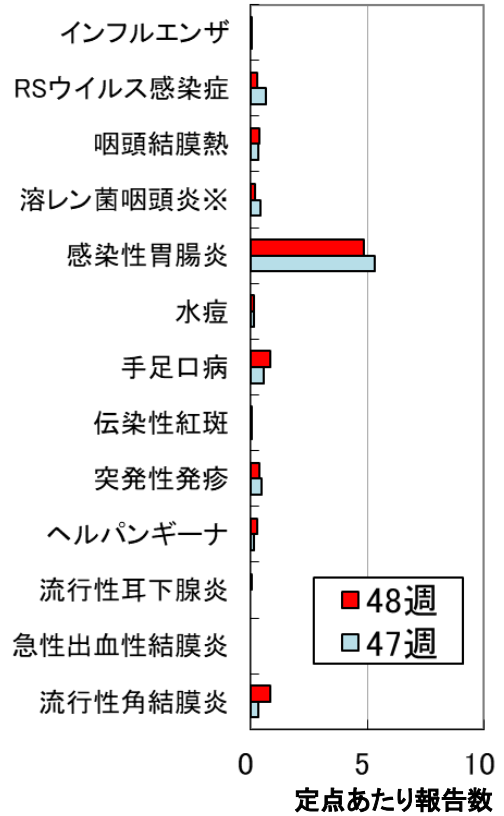
報告数は30人(0.83)で、前週比150%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.5)の約0.6倍であった。延岡(2.0)、日南(1.3)、高千穂、日向(1.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

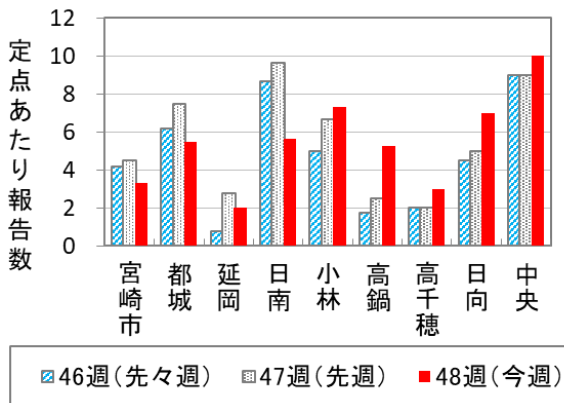
感染性胃腸炎 発生状況



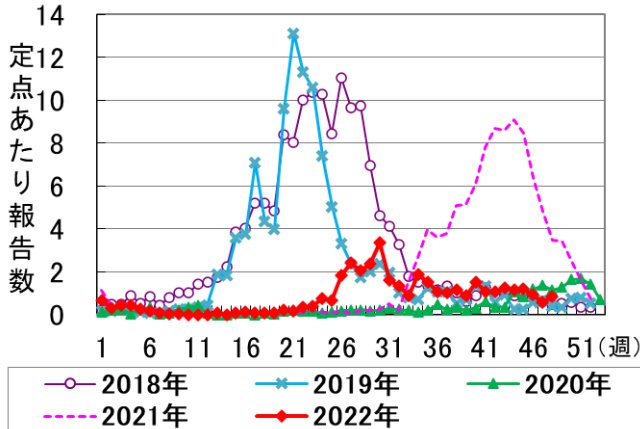
《前週との比較》



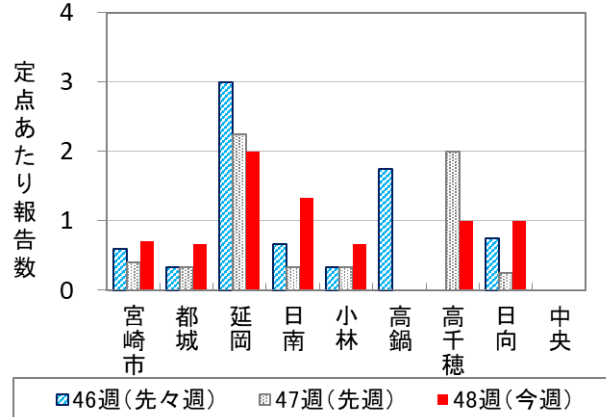
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年12月5日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Escherichia albertii</i>	10歳代	女	2022.10.31	発熱、胃腸炎(下痢、血便、腹痛)	便	2022.11.08
EPEC(OUT:HNM)	5~9歳	女	2022.10.31	胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.11.10
EPEC(OUT:H34)	0~4歳	女	2022.10.31	胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.11.15
<i>Salmonella Infantis</i> (O7:r:1,5)	20歳代	女	2022.11.09	発熱、頭痛、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐)	便	2022.11.17
EPEC(OUT:H21)	0~4歳	男	2022.11.12	発熱(39.4℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.11.25

○10歳代の女性から *Escherichia albertii* が分離された。*E. albertii* は2003年に新種として正式に発表された下痢症起因菌で、国内でも *E. albertii* を原因とする食中毒や集団感染事例が発生しており、患者数が200名を超える大規模な事例も報告されている。*E. albertii* について、細菌学的特徴や保菌動物、食中毒における感染経路及び媒介食品など不明な点が多いが、通常の食中毒予防の3原則（「付けない、増やさない、殺菌する」）、6ポイント（購入・保存・下準備・調理・食事・食品残品での留意）による対応で感染を予防する事が可能であると考えられる。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackievirus A6	0~4歳	男	2022.08.30	手足口病、発疹	咽頭拭い液	2022.11.28

📊 全国 2022 年第 47 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	186例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38例				
4類感染症	E型肝炎	4例	オウム病	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	つつが虫病	38例	デング熱	1例	日本紅斑熱	1例
	マラリア	1例	レジオネラ症	27例		
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	6例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26例
	急性弛緩性麻痺	2例	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16例	後天性免疫不全症候群	6例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	23例	水痘(入院例)	6例	梅毒	136例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	百日咳	18例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比96%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は1,835人(0.58)で前週比78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.43)の約1.4倍であった。山形県(3.7)、新潟県、富山県(1.8)からの報告が多く、年齢群別では3歳以下が全体の約9割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は10,052人(3.2)で前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.7)の約0.7倍であった。福井県(7.8)、埼玉県(6.7)、東京都、宮崎県、熊本県(5.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第48週(11月28日～12月04日)

疾病名		第47週	第48週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3	3					2			1	
	定点当り	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	24	11		10			1				
	定点当り	0.67	0.31	0.00	1.67	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	12	13	7	2				4			
	定点当り	0.33	0.36	0.70	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	16	7	3	2				1			1
	定点当り	0.44	0.19	0.30	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	191	175	33	33	8	17	22	21	3	28	10
	定点当り	5.31	4.86	3.30	5.50	2.00	5.67	7.33	5.25	3.00	7.00	10.00
水痘	報告数	5	5	3	1	1						
	定点当り	0.14	0.14	0.30	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	20	30	7	4	8	4	2		1	4	
	定点当り	0.56	0.83	0.70	0.67	2.00	1.33	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	2						2			
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	17	14	6		3	1	1	2		1	
	定点当り	0.47	0.39	0.60	0.00	0.75	0.33	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	10	2	3	1			3	1		
	定点当り	0.17	0.28	0.20	0.50	0.25	0.00	0.00	0.75	1.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	5	4	1							
	定点当り	0.33	0.83	1.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～48週)

2類感染症	結核	114例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	66例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	13例(1)	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	96例(5)
	破傷風	5例	百日咳	14例
	新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	211837例(3983)	

( )内は今週届出分、再掲